

No. 1

下野市立石橋中学校



# 校長室だより

目指す学校像

『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成  
キーワード「自立・貢献・創造」

スローガン

～生徒も先生も、自ら輝く学校～

令和3年4月9日（金）

発行者 田熊 利光

## 1. 学校教育目標

- 創造性豊かな生徒
- 心豊かな生徒
- 社会に貢献できる生徒

校訓

～より聡く より美しく より遅しく～

## 2. ビジョン

『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成

- (1) 自立→自分の夢や目標を持ち、それを形にできる生徒。（「自立型人間」の育成）
- (2) 貢献→自分の力を集団のために発揮できる生徒。（自己有用感を高める）
- (3) 創造→仲間との協働や対話を通して、新しい価値を創造できる生徒。

3. スローガン ～生徒も先生も、自ら輝く学校～



新任校長の田熊利光と申します。生徒の成長と幸せのために頑張りますので、よろしくお願  
いします。さて、令和3年4月8日（木）200名の新入生が入学してきました。今年度は、  
全校生徒数591名、教職員数47名でのスタートとなります。今年度も、石橋中学校の教育  
に全力で当たらせていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。ここで、本校の職員組織  
をお知らせします。

## 校内組織

校長	田熊 利光	国語
教頭	齋藤 佳代子	国語
教務主任	秋山 実	数学
学習指導主任	小林 秀敏	数学
生徒指導主事	武井 一浩	保体
進路指導主事	井口 康子	美術
栄養教諭	大島久美子	
保健主事	渡邊 沙織	英語
養護助教諭	高田 珠希	
事務長	矢口 裕子	
公 仕	福田 均	
学校支援員（介助）	根本 扶美江	
学校支援員（図書）	三輪 英理子	
A L T	未 定	英語
スクールカウンセラー	小野 薫	
初任者指導教員	武藤 勉	社会
初任研後補充	坂口 昌子	数学
初任研後補充	伊澤 淑子	家庭

## 学年組織

第1学年 主任	茅島 敦	技術
1年1組担任	渡邊 沙織	英語
1年2組担任	稲垣 和希	英語
1年3組担任	土屋 周平	保体
1年4組担任	町田 直美	理科
1年5組担任	飯塚 諒介	社会
1年6組担任	鯨 昭文	数学
1学年副担任	河内 まりな	家庭
1学年副担任	外山 和恵	国語

第2学年 主任	松本 美知子	社会
2年1組担任	大谷 美由紀	国語
2年2組担任	大橋 崇人	理科
2年3組担任	生井 美智子	音楽
2年4組担任	大橋 俊介	保体
2年5組担任	田中 忍	理科
2年6組担任	板倉 幸輝	国語
2学年副担任	小林 秀敏	数学
2学年副担任	田村 陽子	英語

第3学年 主任	菊地 智裕	社会
3年1組担任	君島 恵	理科
3年2組担任	飯塚 聖人	英語
3年3組担任	今野 尊年	数学
3年4組担任	奥村 哲平	社会
3年5組担任	中島 愛美	音楽
3年6組担任	小崎 良行	国語
3学年副担任	埴 紀幸	数学
3学年副担任	上野 未知	保体

特別支援学級主任	近澤 陽子	国語
7組担任	栗山 直子	家庭
8組担任	豊田 憲	保体
9組担任	加藤 美和子	英語

どうぞ、よろしくお願ひいたします。

## 部活動顧問

野球	板倉・秋山	ハンドボール	武井・君島
男女バスケット	稲垣・塙・河内	バドミントン	小林・土屋
男女バレーボール	田中・町田	陸上	鯨・松本
ソフトテニス(男)	奥村・外山	柔道	小崎・豊田
ソフトテニス(女)	今野・大谷	吹奏楽	中島・生井
卓球	大橋崇人・田村・飯塚諒介	科学	茅島・加藤(美)
剣道	上野・飯塚聖人	美術	井口・近澤(水泳)
サッカー	菊地・大橋俊介	家庭	渡邊・栗山

## 入学式

4月8日(木)本校の体育館にて、令和3年度入学式を実施しました。入学式は、感染症対策のため、簡素化した形での実施となりました。新入生は、担任の先生より呼名され、「はい」という返事の中にも緊張感があり、そして「これから頑張るぞ!」という気持ちが伝わってきました。「自立・貢献・創造」を意識しながら、これから、先輩たちの姿を見て、たくさん学んでください。



## 始業式

入学式に先立って、新3年生185名、新2年生206名で、始業式を行い、私から、「感謝・宣言・成長のキーワード」の話、最後に学校教育ビジョンの話をしました。感謝というのは、卒業式で3年生のために、新たな卒業式の形、「感動を創造」してくれたことに対して「ありがとう」と伝えました。コロナ状況下で制限がある中、3年生への感謝を表す方法を生徒会役員を中心に考え、在校生みんなで実行しました。当日は、3年生も感動の涙を流す素晴らしい取り組みでした。宣言は、校長として、「生徒の命を命がけで守る」ということです。いじめは許さないこと。先生がやられている人の辛い気持ちをしっかりと伝えれば、誰でも自分の非に気づき反省する。きちんと伝えないと、自分が相手を傷つけていることに気づかない人もいます。だから、先生に助けを求めることが大事。先生にとって、全ての石中生が大事な生徒。全員を幸せにしたい。人に意地悪をする人が幸せになれるわけがない。だから、本気で指導すると、話をしました。

成長のためのキーワードは、①率先垂範②心のコップは上向きに③真面目がカッコいい!本気がカッコいい!④凡事徹底です。凡事徹底とは「誰にでもできる当たり前のことを、誰にも真似ができないくらい磨きをかけること」で、「凡事」が「非凡」に変わることです。

学校教育ビジョン「未来を、たくましく生き抜ける生徒の育成」と、それを実現するためのキーワード「自立・貢献・創造」について話しました。1つ目の「自立」は、自分の夢や目標を持ち。それを形にできる生徒「自立型人間」になって欲しいということです。金メダリストの共通点は小さい頃から「自分はオリンピックで金メダルを取る」と宣言していたこと。東京五輪柔道-60kg級、日本代表高藤直寿選手も、小学校2年生の頃から「僕はオリンピックで金メダルを取る」と宣言していました。自分がそうありたいと強く心が求めたことは、やがて「形」になるということ。逆に、心が求めなければ実現はしないということです。2つ目の「貢献」は、自分ができることを仲間のためにすることで、自分は人の役に立っているという「自己有用感」が高まるということ。自分の才能は、集団のために発揮することでより輝くということ。3つ目の「創造」は、これからの社会を生き抜くためには、仲間との協働や対話によって、新しい価値を創造する力が必要だということ。今日から、スタート。石中のより良い未来を、みなさんと先生と協力して創造していきましょう。よろしくお祈りします。

新型コロナ感染症拡大防止対策について

**○不要・不急の外出は控え、感染防止に努めてください。**

- ご家庭においても咳エチケットや手洗い等の感染症対策をお願いいたします。
- 定期的な検温**などの**健康観察**をお願いいたします。
- お子さんやご家族の皆様にご気になる症状が見られたときは、県南健康福祉センター等の相談窓口ご連絡し、指示を仰いでください。
- 相談した結果、専門医療機関での**受診を勧められた場合は、受診していただくとともに、学校にもご連絡ください。**

**【下野市にお住まいの方の相談窓口】**

○県南健康福祉センター（夜間・休日も受付）

電話番号：0285-22-0302

**【その他の電話相談窓口】**

○厚生労働省の電話相談窓口（受付時間：9：00～21：00 土日・祝日も対応）

電話番号：0120-565653（フリーダイヤル）